

もし人類が突然、  
この地球から蒸発していなくなったら、  
残された大自然はどうなるか。  
翌日から、目に見えぬ速度で、  
枯れ始めるだろう。  
もしこの地球上で、突然  
すべてのダンサーたちがダンスすることを辞めてしまったら、  
やはり翌日から  
自然に属する人間の肉体そのものが  
枯れ始めるだろう。

僕はいまだにダンスすることに  
一抹の「恥ずかしさ」と「後ろめたさ」を感じ続けている。  
言うべきこと、言いたいことがあるならば、  
現実社会の中で、コトバを一声、発するのだ。  
だが、いまもって舞台上の「沈黙のダンス」に  
僕は加担し続けている。  
一体、ダンスは根源のコトバになるのか。  
新しい大自然を創造するのか。

ローマに天使城(サンタンジエロ)  
という城がある。  
かつては政治犯の牢獄であり、  
マニエリスムの絵画の収集宝庫でもあった。  
フランス革命の後、ローマにやってきた  
カリオストロは  
イタリア革命を画策中  
逮捕されて天使城に幽閉される。  
一七八九年十二月のこと。  
それからスイスのサン・レオの独房に移され  
一七九五年に死んだ。

カリオストロが夢見たのは  
政治的革命ではない。  
ダンスが人間に自由をもたらすことを、  
ダンスが自然界と人間を「友情」で  
結びつけてくれるということを、  
ダンスが根源のコトバとなることを、である。

構成・演出・振付…笠井叡

笠井叡新作 天使館ポスト舞踏公演

## 牢獄天使城でカリオストロが見た夢

—— 天使館を通り過ぎ、遠く離れていったダンサーたちが今此処に ——

2022年  
3月3日(木) 19:00 開演  
3月4日(金) 19:00 開演  
3月5日(土) 14:00 開演  
3月6日(日) 14:00 開演  
\* 開場は開演の30分前

世田谷パトリアンシアター

チケット・全席指定  
一般 前売 A席 5,000円 B席 4,000円  
当日 A席 5,500円 B席 4,500円

### 笠井勲新作 天使館ポスト舞踏公演

# 牢獄天使城でカリオストロが見た夢

## — 天使館を通り過ぎ、遠く離れていたダンサーたちが今此処に —

ダンスとは、鏡に映った自分の鏡像に生命を流し込む作業のこと。

カラダの中でいろいろ考えを巡らせている時、そのコトバは外に聞こえてくる人間に聞こえていく。もしカラダの中で考えたコトバが、その瞬間に、外に聞こえてくれば、人間関係は崩壊するであろうか。崩壊するともいえず、人間関係がその瞬間に成就するともいえる。目の前にいる人間に対して、「いつかはこの世にいない方がいいのではないかな?」という思考内容がそのままに聞かせるならば、それは或る種の必要はなく、しかし実際、そのようなカラダ内部のコトバの「完全な公開性」によって人間関係が成り立つている世界ではないか。

一ヶ月前に、ひとりの友人が死んだ。それまで僕の側にいたその友人は、もはや会話できるよう外にはなく僕の心に住み始める。この時、僕の心に響いている声は、その瞬間にその友人に聞こえとられる。友人の考えもその瞬間、友人の声として、僕の心の中に流れ込んでくる。完璧な人間関係を、もし「この世」に「単純に創りたい」という想いでダンスをするしかない。ダンスの中で語られている思考内容のように、ダンスにおいて「動き」とは、公開された人間内部の「声」である。だから皆、ダンスを観る。ダンスを感じようとする。ダンスにおいては「動き」が、すべて公開される。すべて「盗み見る」ことができる。

一方、観客はダンサーが、無意識の内に「隠匿」できている「内なる動き」をすべて「盗み見る」ことができる。そのような人にとって今日、ダンス技術「上」よりも「盗み見る技術」のほうがはるかに進化している。そして「踊る」よりも「観る」方が、はるかに重要な意味を持つてくる。ダンスの主体がダンサーから観客へ移りつつある。

しかし、ダンサーがこの「公開された隠匿性」を観客から再び引き戻すことなく、ダンスの主体が他者に受け取られた状態であり続けるならば、その瞬間から緩やかに、ダンスはダンスのひとつの存在理由を失い始める。なぜなら「ダンス」と「ダンスの作品」とは同一の地平には立ててはならない。「作品」とは新たな「隠匿性」の創造なのである。そして観る側に移動していったダンスの主体を再びダンサーが舞台上へ引き戻し、作品として、新しい「隠匿性」を創造しなければならない。その時、再び観るは前提なしに、零から新たにダンスを観ることを始める。

ヨハネ福音書の有名な冒頭の言葉「太初にコトバあり、コトバは神と共にあり、コトバは神なりき」この冒頭の「太初」はギリシャ語からのドイツ語訳では「Urbeginn (ウルベギン)」と訳されている。単に抽象的な「もの始まり」という意味ではない。「ウルベギン」とはひとりの人間である。始まりと「つ」に結びついている人間存在である。世界とは「ウルベギン」という全世界を内包した人間がコトバを発することに由来する。この人間はコトバは声とダンスとが一体となって発せられる。この言葉はどこにも隠匿されることなく発声と同時にすべて公開される。原人間は声が発せられる。同時に、原人間はそれを聴く。人間の中で同時に起きているこの「発声と聴覚の結合」によって世界は創造される。

このコトバは太初に神とともにあり、よろずのもの、これによりて成り、成りたるもの、これによりて成り、これによりて成りたるはなし。

- 【構成・演出・振付】 笠井勲
- 【出演】 浅見裕子 上村なおか 大森政秀 笠井久子 笠井瑞丈 笠井禮示 鯨井謙太郎 齋田美子 櫻井郁也 定方まこと 杉田文作 寺崎磯 野口泉 原仁美 山崎広太 山田せつ子
- 【ピアノ演奏】 島岡多恵子



大森政秀



杉田文作



山田せつ子



寺崎磯

### 笠井勲渡独までの天使館小史

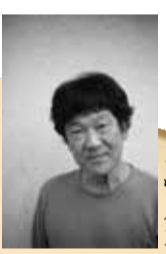
- 1963年10月「鶴儀」朝日講堂 (duo 大野一雄)
- 1966年8月23日「刑罰聖母」(處女サイトル) 銀座ガスホール (大野一雄・高井富子協力出演)
- 1967年5月11日「O嬢の物語」(ダンスエキシビジョン solo) 都市センターホール
- 10月30日「舞踏への招待」(独舞サイトル) 第一生命ホール
- 1968年8月30日「稚児之草子」(独舞サイトル) 新宿厚生年金会館
- 1969年6月「タンホイザー I」(独舞サイトル) 厚生年金会館小劇場
- 1971年4月 天使館設立
- 10月「丘の麓」現代舞踊の異形公演 (共演 大野一雄)
- 1972年1月「タンホイザー II」(独舞サイトル) 厚生年金会館小劇場
- 8月「三つの秘蹟のための舞踏会」(天使館舞踏公演) 厚生年金会館小劇場
- 1973年6月30日~9月30日(土・日)「七つの封印」(天使館舞踏公演) 赤坂国際芸術家センター
- 1974年7月「天照大御神への鎮魂の舞」(独舞サイトル) 赤坂国際芸術家センター
- 10月「伝授の門」—現代における秘儀とは何か—(天使館公演・講演高橋徹)
- 1976年1月10日「月読蛭子」(独舞サイトル) 第一生命ホール
- 3月9日「トリスタンとイゾルデ」九段会館 (共演 笠井久子・堀内博子)
- 9月7日「劇的秘儀としての聖堂舞踏のために」(独舞サイトル) 第一生命ホール
- 12月22日「物質の未来」(独舞サイトル) 第一生命ホール
- 1977年4月14日「龍の姿をした愛欲の母なるティアマット」(独舞サイトル) 朝日生命ホール
- 7月1日「冥王の妃ティアマット」(独舞サイトル) 朝日生命ホール
- 1978年1月~8月「エーテル宇宙誌」(連続舞踏公演 solo) 天使館・朝日生命ホール
- 1979年1月17日「悲惨物語」(舞踏作品集 I solo) 第一生命ホール
- 3月6日「ソドム百二十日」(舞踏作品集 II) 第一生命ホール
- 5月1日「死美人」(舞踏作品集 III II) 第一生命ホール



笠井久子



齋田美子



山崎広太



笠井勲



櫻井郁也



寺崎磯



原仁美



定方まこと



笠井禮示

2022年3月3日(木) 19:00 開演  
 4日(金) 19:00 開演  
 5日(土) 14:00 開演  
 6日(日) 14:00 開演  
 \*開場は開演の30分前

## 世田谷パブリックシアター

アクセス 東京都世田谷区太子堂4-1-1 TEL:03-5432-1526 三軒茶屋駅(東急田園都市線)渋谷より2駅5分・世田谷線より直結

チケット料金 全席指定・税込  
 A席(1・2階席) B席(3階席)  
 一般 前売 A席5,000円 B席4,000円/当日 A席5,500円 B席4,500円  
 学生割引 前売 A席3,500円/当日4,000円

世田谷パブリックシアター友の会 A席4,700円(前売のみ)  
 せたがやアーツカード会員\*1 A席4,800円(前売のみ)  
 U24\*2 A席4,000円(前売のみ)

\*1:世田谷区在住の方対象。詳細・お申込みは世田谷パブリックシアターチケットセンター、または劇場公式サイトへ。(要事前登録)  
 \*2:18~24歳の方は世田谷パブリックシアター主催公演の前売チケットが半額になるほか、主催以外の一部公演についても割引料金でお求めいただけます。  
 詳細・お申込みは世田谷パブリックシアターチケットセンター、または劇場公式サイトへ。このサービスはトヨタ自動車株式会社提供しています。(要事前登録)

\*学生券・U24チケットをお求めの方は、当日、証明書をご提示ください。  
 ※未就学児童の入場はご遠慮いただいております。

### チケット取扱

- 世田谷パブリックシアターチケットセンター TEL:03-5432-1515 (10:00~19:00)
  - 世田谷パブリックシアター オンラインチケット https://setagaya-pt.jp/ (24時間受付・要事前登録)
- ※電話およびオンラインのみでの受付となり、窓口での発売・発券はございません。  
 ※支払方法は「セブン-イレブン」または「オンラインクレジットカード決済」、お引き取り方法は「セブン-イレブン発券のみ」となります。  
 ●e+ (イープラス) https://eplus.jp/sf/detail/3555820001-P0030001

車いすスペース(定員あり・要予約・ご利用希望日の前日19:00まで)  
 料金:一般 A席より10%割引(付添者は1名まで無料)  
 申込:世田谷パブリックシアターチケットセンター TEL:03-5432-1515

託児サービス(定員あり・要予約・ご利用希望日の3日前正午まで)  
 料金:2,200円(1名につき)  
 対象:生後6ヶ月以上9歳未満(障害のあるお子様についてはご相談ください)  
 申込:世田谷パブリックシアター TEL:03-5432-1526

【お問合せ】 ハイウッド TEL:03-6302-0715 (平日11:00~18:00) E-mail:hiwood.info@gmail.com

【新型コロナウイルス感染症拡大防止のご理解とご協力をお願い】

- 当公演は新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する取り組みを講じた上で開催いたします。
- ご来場の際は必ずマスクをご着用の上、館内での検温・手指消毒等にご協力ください。(37.5℃以上の発熱がある方は、入館できません。)
- 劇場内での混雑を避けるため、入退場時に制限を行う場合があります。
- 感染症対策のため、お客様の購入時のご連絡先を保健所などの公的機関に提供することがあります。
- 劇場HPに掲載の新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインをお読みいただき、ご理解の上、ご来場ください。



公演特設ページ

照明/森下泰  
 音楽制作/角田寛生  
 音響/稲荷森健  
 衣装/萩野緑  
 舞台監督/河内崇 湯山千景  
 宣伝写真/笠井禮示  
 出演者写真/笠井禮示  
 宣伝美術/NU  
 制作補/平岡久美  
 制作/高樹光一郎(一般社団法人ハイウッド) 一般社団法人天使館  
 プロデューサー/笠井久子(一般社団法人天使館)  
 主催/一般社団法人天使館  
 提携/公益財団法人せたがや文化財団 世田谷パブリックシアター  
 助成/文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会  
 後援/世田谷区